

CF-30-001/CF-36-002

LAGUNA CEILING FAN

取扱説明書

Item No. CF30-001DC/CF36-001DC LAGUNA CEILING FAN


お客様の安全のためにご使用前に必ずお読みください。

この取扱説明書はいつでも必要な時にご覧いただけるように大切に保管してください。


このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。安全にご使用いただくために、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになられた後も、大切に保管して下さい。
※この「取扱説明書」は、お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止する為、重要な内容を記載しています。内容をよくお読みのうえ必ず守ってください。


SAFETY INFORMATION

この取扱説明書のマークについて



 **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある事を示しています。



 **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性、また、物質的損害の可能性を示しています。



 この表示は、してはいけない事を示しています。



 この表示は、お客様に必ずしていただく事を示しています。



警告



  器具を取り付ける天井の強度を確認し、重量に耐えられる事を確認して下さい。強度が不足している場合は補強工事をしてから取り付けてください。
※器具落下によるケガの原因になります。



  器具や電球を布や紙、アルミ箔等で覆わないでください。火災、燃失、故障、変形の原因になります。

  点灯中及び消灯直後は器具及び電球が高温になっていますので、素手では触れないでください。
※やけどの原因になります。


  この器具は「非防水」です。湿気の多い場所や水のかかる場所、屋外ではご使用できません。
※火災・感電・絶縁不良の原因になります。


  器具のそばにストーブ等高温になるものを置かないでください。また燃えやすいもの(カーテン等)の近くで使用しないでください。
※火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。


  器具のすきまに異物(金属類や燃えやすい物等)を差し込まないでください。
※火災・感電・絶縁不良の原因になります。


  指定の電球以外は使用しないでください。
■焼損・過熱・変色・変形の原因になります。

注意


 電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は法律で禁じられています。


 シェードやランプの着脱、取り付けは両手で静かに扱い、確実に行ってください。

 器具に注意書きのシールが添付されている場合は、その指示に従ってください。

 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。(傷をつける/加工/熱器具に近づける/無理に曲げる・ねじる・引っ張る/衝撃を与える/重い物をのせる、束ねる等、コード・プラグに負荷のかかることはしないでください)傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。修理の際は販売店にご相談ください。

 器具や電球に着色等をしないでください。

 絶対に分解したり、修理・改造をしない。発火等の異常動作して、火災や感電・けがの原因になります。修理は販売店へご相談ください。

 器具から煙が出たり、異臭がしたときは、速やかに電源を切り、販売店までご連絡ください。

 ご使用后、廃棄される場合は清掃回収車への安全面に十分配慮して処理していただきますようお願いいたします。

【お手入れ方法】

- 必ず電源を切ってから行ってください。
- 安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃・点検を行ない、接合部のゆるみ及び器具や電球に損傷がないかを確認してください。異常がありましたら使用せずに販売店・電気店にご相談ください。
- 器具が汚れた場合は柔らかい布かまたは中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞ってから軽く拭き取ってください。
- シンナーやベンジン等の揮発性のものでふいたり殺虫剤をかけたらないでください。変質・故障の原因になります。
- 器具を丸ごと水洗いしないでください。感電・焼損・サビの原因になります。

【電球の交換方法】

点灯中や消灯直後は器具が高温になっています。消灯後しばらくしてから行ってください。

1. 必ず電源を切ってから行ってください。
2. 組み立て方を参考に指定の電球と交換してください。(指定電球は器具に表示してある電球シールをご確認ください)
3. 電球はソケットに確実に取付けてください。

【製品仕様】

- 屋内専用器具
- 天井直付、簡易取付型
- 電球付属 (E17/60W×1)
- 点灯仕様 全灯⇄消灯
- 風速 (OFF→低速→中速→高速)
- 風向き切替 (リモコン操作)
- 調光器との併用不可
- 傾斜天井、舟形天井への設置不可
- 竿縁天井、格子型天井への設置不可

【回転数 (100V 50Hz)】

	低速	中速	高速	(rpm)
正回転	90	119	149	(rpm)
逆回転	89	118	149	

【回転数 (100V 60Hz)】

	低速	中速	高速	(rpm)
正回転	89	118	148	(rpm)
逆回転	89	119	147	

※正回転は時計回り方向です。

※回転数は ±10% 程度の誤差が生じます

【標準的な使用時間】

当製品の設計上の標準使用期間は4年です。

製造年は本体に記載しております。

標準使用期間を超えてご使用される場合、熱、湿気、ほこり等の影響により、部品の劣化、天井部分のゆがみ等を原因とし、様々な不具合、発煙発火にいたる場合がございますので、以下の様な症状がある場合は特に注意し、ご使用を見合わせてください。

1. リモコンを操作しても FAN が回転しない
2. ファンの回転数が異常に遅い、または不規則である
3. 運転時のモーター音が異常に大きくなった
4. モーター部分が異常に熱い
5. 異臭がする
6. 製品が異常に揺れるようになった

標準使用期間は以下の条件をもとに設定されています。

((社) 日本電気工業会自主基準 HD-116-3)

電圧：100V

周波数：50Hz/60Hz

温度：30℃

湿度：65%

設置：取扱説明書に則した設置

負荷：製品の企画に準ずる

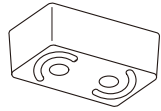
運転時間：10 時間 / 日

運転回数：5 回 / 日

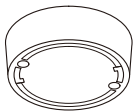
運転日数：180 日 / 年

※設計上の標準使用期間は製品の寿命目安です。保証期間とはことなりますので予めご了承ください。標準使用期間内であっても使用諸条件の相違により異常が発生した場合は、速やかに電源を切りご使用を控えてください。

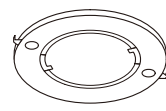
天井の配線器具を確認してください。 ※いずれの器具もついてない場合は、電気工事に依頼して取付けてください。



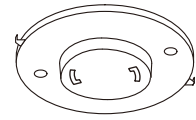
角型引掛シーリング



丸型引掛シーリング



埋込ローゼット Aタイプ



埋込ローゼット Bタイプ
※中央が出っ張っているタイプ



角型引掛シーリング



丸型引掛シーリング

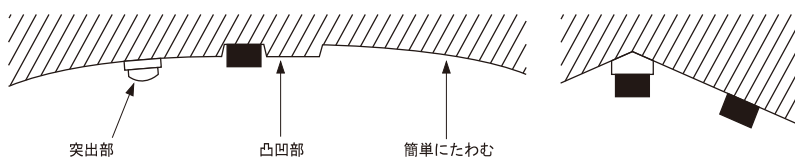
※赤枠の引掛けシーリングに取付ける際は、本体を固定する為に天井にネジを打ち付けます。

取り付けの際は天井補強工が必要な可能性がございます。

角型・丸型シーリングに取り付けを行う際は必ず天井の強度を確認し、強度が不足している際は、必ず電気工事業者に本体の取り付けと強度補強をご依頼ください。

取り付けできない天井

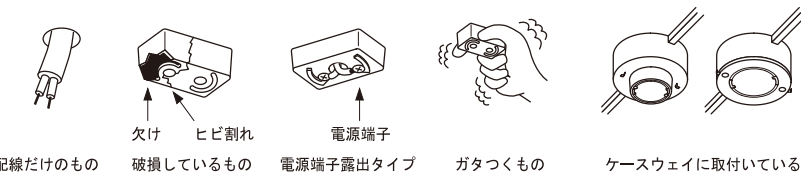
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。



突出部のある天井・凸凹のある天井・簡単にたわむ弱い天井

変形天井・ななめ天井

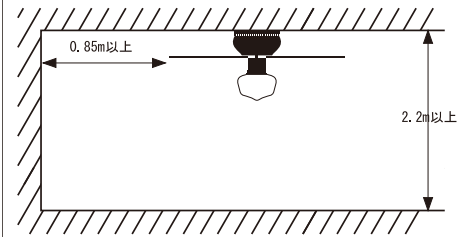
下図の場合は電気工事店にご相談ください。



電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。
引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取付けしないでください。器具が落下する恐れがあります。

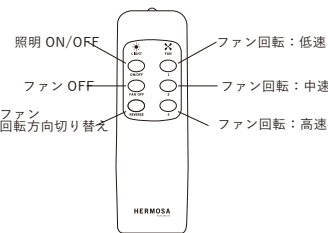
取り付け上のご注意

- ファンが回転している間は、羽根に絶対に触れないでください。ケガの恐れがあります。
- ファンの羽根は必ず4枚取付けて運転してください。回転が不安定となり、落下やケガの原因となります。
- 万一羽根を破損した場合は必ず4枚とも交換してください。破損した羽根だけを交換すると、振動の原因となります。
- 羽根を回転させるためモーターを使用しておりますので、若干の音は発生しますが異常ではありません。ご使用中に異常振動や異常音が発生したらすぐに使用を中止し、販売店へご相談ください。
- 壁付調光器のある回路では使用しないでください。
- ご使用の初期にはランプの熱により焼けたような臭いがする事がありますが、異常ではありません。
- 器具の取付位置は下図の寸法を参考に取付けてください。下図の寸法以下で取付けると器具の振動の原因になる場合があります。



リモコンの操作方法・スイッチの説明

【スイッチの説明】



●照明の点灯

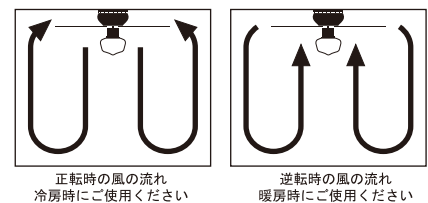
照明ON/OFFスイッチと操作して点灯・消灯の切替ができます。
※全灯・消灯の切替になります。

●回転速度の切り替え

リモコンのスイッチにより、高速・中速・低速の回転速度の切替ができます。リモコンのFanOFFスイッチにて、停止します。
※ファンの回転をOFFにしても、遠心力が加わっている為すぐには止まりません。
※回転切り替え時は回転が始まるまで時間が掛かります。

●回転方向の切替

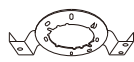
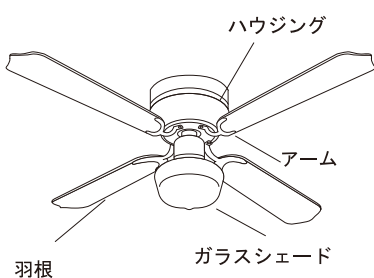
リモコンの『ファン回転方向切替』ボタンにより、正転と逆転の切替ができます。



正転時の風の流れ
冷房時にご使用ください

逆転時の風の流れ
暖房時にご使用ください

各部の名称と付属パーツ一覧



取付金具×1

ネジ・ワッシャー×3セット



木ネジ・ワッシャー大・小×4セット
(埋込ローゼットには使用しません。)



ハウジング×1

ネジ×4
ワッシャー×4



埋込ローゼット用ネジ
長ネジ・ワッシャー大/小×2



短ネジ・ワッシャー大/小×2
(角形・丸形シーリングには使用しません。)



ガラスシェード×1

ネジ×3



E17/60W球×1



羽根×4



アーム×4



ネジ・クッション
12セット

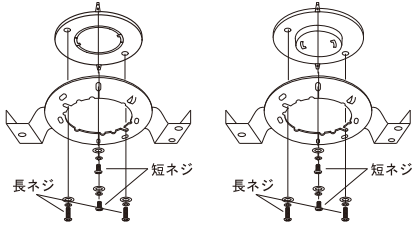
1 取付金具を取付けます。※引掛シーリングの形状により取付け方法が異なります。

■ 埋込ローゼットの場合

埋込ローゼットに元々取付けてあるネジを取り外して下さい。

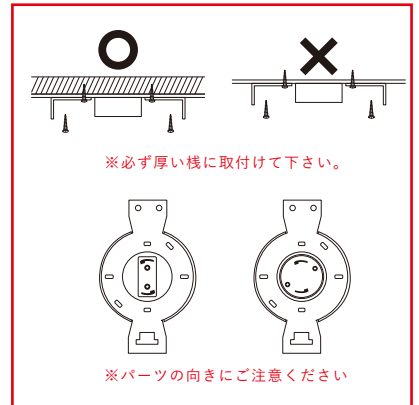
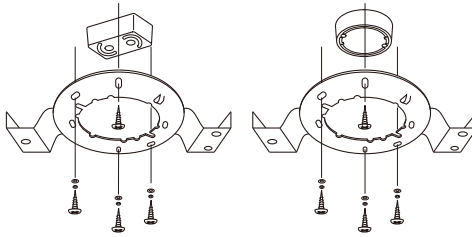


埋込ローゼット取付ネジでローゼットを取付けてください。外側が短ネジに、内側が長ネジになります。※必ず4本のネジで取付けてください。



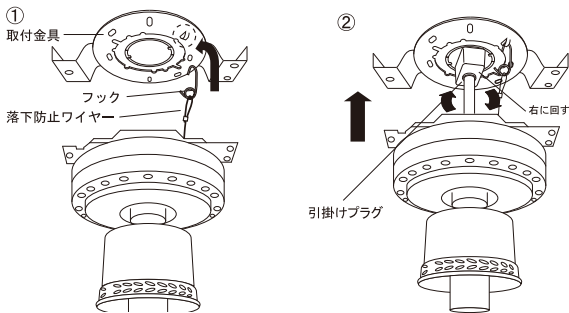
■ 角型・丸形シーリングへの場合

下図のように取り付け金具の穴に4本の木ネジを打ち付けて固定します。天井は充分な強度のある棧に必ず4本の木ネジを打ち付けて固定して下さい。



丸型・角型シーリングに対してシーリングファンを取付ける際は、天井強度の確認と取付を必ず電気工事にご依頼ください。

- ① 本体上部にある落下防止ワイヤーのフックを取付け金具に引掛けます
- ② お部屋のスイッチがOFFな事を確認してから、引掛けプラグを右に回して固定してください。

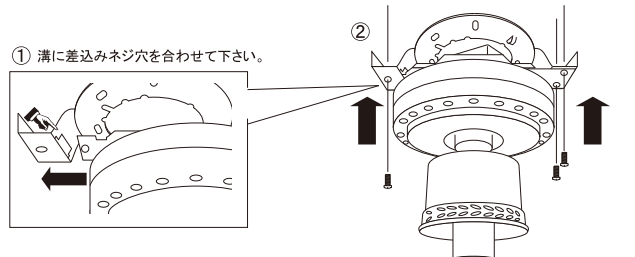


※この段階で仮固定ができた状態にはなりますが、手を離さないで下さい。落下の危険があります。

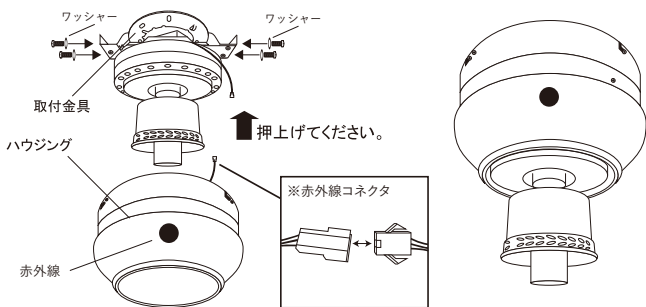
- ③ 取付金具と本体を付属のビスで固定します。※各ネジはパーツから取り外して取付けてください

① ビス穴が1箇所側の側は、取付け金具の溝に本体の端を差込む様にして穴位置を合わせます。※2箇所側はそのままから穴位置を重ねてビス止めをしてください。

② 3箇所側のネジ穴に付属のビスをしっかりと固定してください。



- ④ 天井に固定した本体にハウジングを取付けます。ハウジングを取付け金具の位置まで押し上げ、両サイド各2点、合計4点のビスで固定します。※赤外線コネクタを本体のコネクタへ確実に差し込んでください

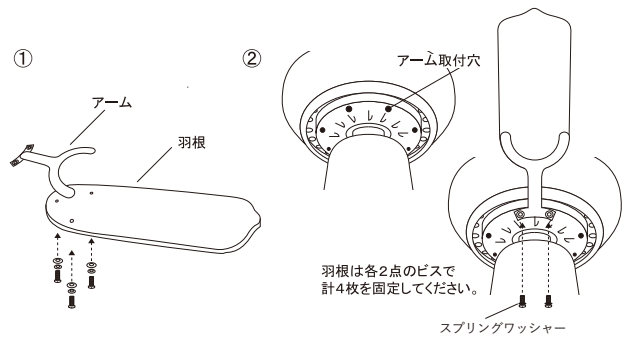


※ハウジングを斜めに取付けてしまうと内部のモーターとハウジング底部が擦れて回転できなくなる事がございます。取付の際にハウジングとモーター部が接触していない事をご確認ください。

- ⑤ 羽根を本体に取付けます。

① 4枚の羽根とアームを先に連結して、本体に取付けられる状態にします。※裏表で白面、WOOD面の2色を選ぶ事が出来ます。

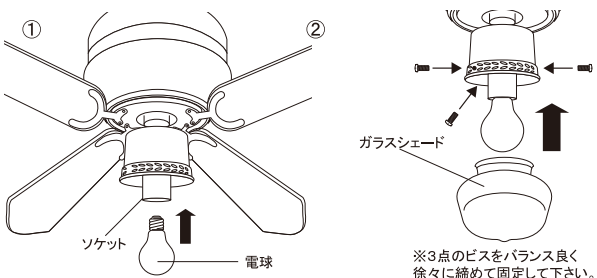
② 本体のアーム取付穴に①で組立てた羽根をビスで固定します。



- ⑥ ソケットに付属の電球を取付け、ガラスシェードを固定します。

① ソケットに電球を取付けます。

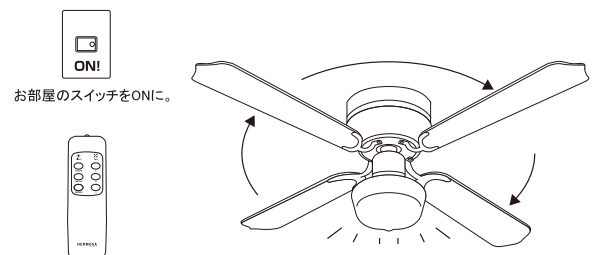
② ガラスシェードを3点のビスで固定します。※固定の際はガラスシェードの落下に充分注意してください。※3点のビスは一方を締めすぎるとガラスを破損する可能性があります。3点をバランスよく徐々に締めることで安全に固定ができますのでご注意ください。



- ⑦ 点灯・ファンの回転を付属のリモコンで確認してください。

① お部屋の壁スイッチをONにしてください。

② リモコンを操作し、点灯・ファンの回転を操作してください。



付属のリモコンを使用して操作の確認をしてください。※リモコン操作の詳細はP02の『リモコンの操作方法・スイッチの説明』をご参照ください。